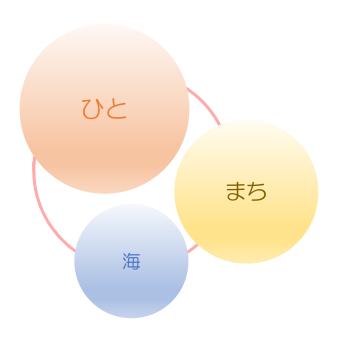
第3回 第五次内灘町総合計画策定審議会 主な意見対応

意見	対 応
具体的な数値目標などは提示する予定なのか。	基本計画本編に前期・後期ごとに数値目標を設
具体的な施策に対する目標をいつまでに実施	定している。
するのか定めないといけない。	
総合戦略と総合計画の整合をどのように図る	総合戦略は人口減少対策に特化したものであ
のか	り、総合計画はそれらも包括した町全体の計画
	として捉えている。(序章で図示)
	重点プロジェクトや基本計画の各施策におい
	て総合戦略との整合を図り、整理している。
総合計画では実施計画も作成するのか	実施計画については、毎年の予算状況に応じて
	変動があるため総合計画には含まない。基本計
	画を踏まえて各課で事業等を検討・作成するこ
	とになる。
町民意向(重要度、満足度)については、どの	重要度と満足度については、あくまでも町民意
ように反映されているのか	見の結果であり、町としてはどの項目も重要で
	あると考えている。
	基本計画の現状に重要度、満足度を示し、担当
	課の意識づけ、施策内容に反映している。
具体的な施策は財政面の動きと連動すること	町の財政課において基本計画に基づき、今後5
かと思うが、どのような動きをとって施策や事	年間の事業計画を作成している。人口減少や高
業を定めるのか。	齢化に伴い、財政的に収支が厳しい状況ではあ
	るが、今後も継続して作成していく予定であ
	る。
将来都市構造図についてであるが、道路ネット	事務局で検討した結果、将来都市構造ではなく
ワークは背骨となる軸のみ位置づけられてお	土地利用を示すこととし、土地利用方針に基づ
り、それを繋ぐ軸が示されてなく感じるが、こ	き、都市構造の詳細を担当課で検討することと
のような記載で良いのか。	なる。
産業や観光の活性化が課題としてあげられて	土地利用の位置づけとしては、現状においては
いる中、酪農地帯は農地ゾーンとして示されて	農地ゾーンと位置づけする。今後、観光振興を
おり、整合が図られていない。また、総合計画	図るうえで観光農園等の活用が可能か検討し
に現状と大きな変化がない都市構造を示すこ	ていきたい。
とに違和感がある。	
中学生アンケート結果(買い物が不便)につい	町の土地利用について商業が集積できる場所
ては、5つの方針に反映されていないと思う	は限られている。コンフォモール内灘周辺を商
が、含めなくても良いのかと感じた。	業拠点と位置づけ、活性化を図っていきたいと
	考えている。

意見	対 応		
金沢駅周辺で宿泊施設が不足している中、観光	北陸鉄道浅野川線を利用すれば、金沢駅から内		
客を内灘町に呼び込む整備を組み込めないか	難駅まで約20分で来ることができるが、内灘		
と思う	駅からの公共交通の接続が不十分であり、近々		
	に対応したいと考えている。		
今回のアンケート結果において割合が高い項	前回の結果と差が生じた要因として、町民の価		
目でも前回結果と比較すると割合が減少して	値観多様化や町への愛着低下等が考えられる。 今後の施策にて町への関心を高め、愛着の醸成 を図りたい。		
いるものもある。その辺の変化を踏まえないと			
いけない気もするが、如何お考えか。			
西荒屋地区の子供の減少が進んでいる。要因と	今後、地元の意向を踏まえたうえで、地区計画		
しては土地利用に規制があるためと聞いてい	の導入の検討を進め、転入者の受け皿を確保し		
る。将来都市構造は、都市計画の図面を掲載す	たいと考えている。		
るのではなく、住宅地を造成するなどの目標を			
示すことを検討してほしい。			

第五次 内灘町総合計画(案) <概 要>

— ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ —



平成 28 年度 ▶▶▶ 平成 37 年度

第五次内灘町総合計画(案) <概 要>

基本構想

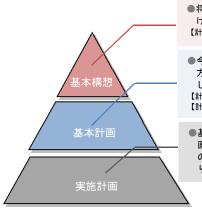
策定にあたって

我が国は、平成 20 年から人口減少時代に突入 し、今後、人口減少による地域経済規模の縮小 や生活水準の低下等が懸念されています。また、 東日本大震災をはじめとする地震や津波など大 規模な自然災害の多発、住民の価値観やライフ スタイルの変化、地域コミュニティの希薄化、 高度情報化社会の進展など、私たちを取り巻く 環境は大きく変化しています。

本計画は、人口減少の克服に向けて平成27年10月に策定された「内灘町人口ビジョン」「内灘町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、住民と行政が一体となり、近隣市町との相互協力を図りながら、将来にわたり輝ける内灘町を築くためのまちづくり指針として策定します。

【総合計画の構成と計画期間】

- ●総合計画は「基本構想」と「基本計画」で構成されます。
- ●基本構想及び基本計画の計画期間は、平成 28 年度~平成 37 年度の10年間とし、平成28年度~平成32年度を前期計画、 平成33年度~平成37年度を後期計画とします。



●将来のまちの姿の設定と実現に向けた基本方針等を示すものです。 【計画期間:平成28~37年度】

●今後10年間で取り組むべき施策の 方針や内容等を各分野別に体系化 したものです。

【計画期間(前期): 平成 28~32 年度】 【計画期間(後期): 平成 33~37 年度】

●基本計画をもとに、中期的な事業計画を盛り込んだものであり、毎年度の予算編成や事業執行の指針となります。



まちづくりの目標

基本理念

心豊かで、思いやりあふれるまち ~ひとの輝き~

住み慣れた地域で安心して健やかに生活できるよう、子どもから高齢者までの全ての町民が支え合い、心豊かで思いやりあふれるまちを目指す



安全・安心で、賑わいあるまち ~まちの輝き~

閑静な住宅地や充実した医療機関等の本町の魅力を活かし、安全・安心で誰もが「住んでよかった、住みたい」と実感できる 賑わいあるまちを目指す



緑と水に抱かれた、自然豊かで環境にやさしいまち ~自然の輝き~

内灘海岸や内灘砂丘、河北潟をはじめとする豊かな自然に囲まれ、人と自然が共生し、環境にやさしいまちを目指す



将来のまちの姿

<u>ひと・まち・海が輝き</u> 笑顔あふれる都市 うちなだ

本計画では「ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ」を将来のまちの姿に掲げ、町の恵まれた地域資源と地理的な特性を活かしながら、町内が一体となったまちづくりを推進し、誰もが「住んでよかった、住みたい」と思える、明るく元気な町を目指します。

基本指標

■目標年次 平成37年

人 口 27,000人 世帯数 11,300世帯

一内灘町人口ビジョン―目標年次 平成 72 年 (2060 年)人 口 約 25,000 人

【人口と世帯の推計】



出典:国勢調査(平成27年以降は推計値)

まち

将来のまちの姿「ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ」の実現を目指し、5つの 基本方針を設定し、今後のまちづくりを展開します。

基本方針1【輝く 水と緑】

豊かな自然とともに、 快適に暮らせるまちづくり



【施策区分】

- ・都市基盤の整備
- 生活環境の充実
- 自然環境の保全と活用

基本方針2【輝く くらし】

みんなで支え、安全で安心して 健やかに暮らせるまちづくり



【施策区分】

- 社会福祉の充実
- ・健康管理の充実
- ・暮らしの安全確保

基本方針3【輝く 心と体】

豊かな心と個性があふれ、 みんなが輝くまちづくり



【施策区分】

- ・学校教育の充実
- 社会教育の充実
- ・文化・芸術・スポーツの振興

基本方針4【輝く まちの魅力】

地域の魅力を活かし、 活力と交流が生まれるまちづくり



【施策区分】

- ・産業の振興
- ・就労環境の充実
- 広域交流の推進

基本方針5【輝く 笑顔】

絆を深め、

みんなが活躍できるまちづくり



【施策区分】

- ・地域づくりの推進
- 持続可能な行財政の運営

土地利用方針

町民の豊かな生活環境や快適な都市空間の創出を図るため、5つのゾーンを設定した土地利用方針を定め、総合的かつ計画的な土地利用を推進します。

【土地利用方針図】



住宅系地区

■南部地域

<面的整備等により形成された住宅地>

引き続き低層住居を中心とした土地利用を図り、良好な住環境を保全するものとします。

<幹線道路沿いの住宅や商店舗等が立地する既成住宅地>

沿道の適正な土地利用や秩序ある沿道景観の形成等により、 良好な居住環境を有する沿道型住宅地の形成を図ります。

<その他の住宅地>

用途の純化が図られている地域は、安全で快適な住環境の創出に努めるため、適正な建築誘導が図れるよう、用途の見直しの 検討を行うものとします。業務施設、公共施設等が立地する地区は、沿道の特性を活かした効果的な土地利用を推進します。

■北部地域

<白帆台地区>

生活利便施設の立地誘導を図るとともに、周辺の自然環境と 調和した魅力ある良好な街並み形成を目指します。

<市街化調整区域に属する既存集落地>

都市基盤の整備充実や公共交通の利便性向上等により、快適 な集落環境の形成を図るとともに、北部地域の活性化を図る ため、各種土地利用手法の導入による誘導策を検討します。

商業系地区

新商業地となるよう更なる立地誘導を図り、内灘海岸を含めた新たな魅力づくりとなる賑わいのある商業地の形成を推進します。

観光・レクリエーション地区

内灘町の水と緑豊かな自然環境を活用した観光・レクリエーション拠点の整備を図るとともに、内灘海岸や内灘砂丘等の 既存の観光拠点とのネットワークの強化と観光メニューの 多様化を進めます。

農業振興地区

優良農地の整備・保全を進めながら農業生産基盤の強化を図るとともに、農地が持つ多面的な機能を活かしつつ田園環境の保 全に努めます。

自然環境地区

<樹林地>

豊かな自然環境の形成並びに内灘町らしい景観を創出する緑として今後も保全に努めるとともに、観光・レクリエーション地を結びつけるネッワークとして活用を図ります。

<海浜に代表される自然地や水辺>

人々に憩いとやすらぎを与えるうるおい空間として、今後と もその保全に努めるとともに、親水性の高い水辺環境の創出 を推進します。

重点プロジェクト

内灘町が目指す将来のまちの姿「ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ」を実現するため、基本方針に基づき重要な施策を統括した「安全安心プロジェクト」、「定住促進プロジェクト」、「北部開発プロジェクト」、「健康増進プロジェクト」、「賑わい創出プロジェクト」の5つの重点プロジェクトを定めます。

ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ

将来のまちの姿の実現

5つの重点プロジェクト

安全安心

プロジェクト

公共施設の整備・維持管理 防災・防犯体制の強化 地域コミュニティの充実 など

定住促進

プロジェクト

住宅・宅地の整備 定住人口確保に向けた住環境向上 子育て環境の充実 など

北部開発

プロジェクト

幹線道路からのアクセス強化 魅力ある住宅地の形成 砂丘地の特徴を活かした農業振興 など

健康増進

プロジェクト

医療・福祉体制の強化 文化・芸術・スポーツ施設整備 生きがい・健康づくり活動

賑わい創出

プロジェクト

地域資源を活用した観光振興 国内外との交流推進 産業の育成、起業支援

など

など



豊かな自然とともに、快適に暮らせるまちづくり【輝く 水と緑】

都市基盤の整備

<u>道路</u>

- 広域幹線道路網の整備
- ・町内道路の整備
- ・ 快適な道路環境の整備
- ・ 雪対策の推進

公共交通

- ・町内公共交通網の整備
- 内灘駅周辺整備

海岸・河川・湖沼

- ・海岸の保全
- ・河川の改修
- ・湖沼の保全

生活環境の充実

公園·緑地

- ・公園、緑地の整備・維持管理
- ・緑化の推進
- ・墓地の拡充整備

住宅・宅地

- 居住環境の向上
- 民間住宅建物の適正化
- ・空き家対策の推進
- ・住宅需要への対応
- ・景観形成の充実

上下水道

- ・上水道施設の整備・維持管理
- ・水源の確保
- ・上水道経営の合理化、効率化
- ・下水道施設の整備・維持管理
- 雨水幹線の整備推進
- ・下水道経営の合理化・効率化

自然環境の保全と活用

自然環境

- 自然環境の保全活動の推進
- ・水資源の保全と活用
- ・地盤沈下、塩水化防止対策の推進
- ・地下水涵養対策の推進
- ・ 自然環境保護意識の高揚
- ・公害防止対策の充実

循環型社会

- ・省資源・省エネルギー対策の推進
- ・ごみの減量化・再資源化の推進
- 収集体制の再構築
- 広域処理施設の整備促進
- ・し尿浄化槽の管理指導の徹底

みんなで支え、安全で安心して健やかに暮らせるまちづくり【輝く くらし】

社会福祉の充実

地域福祉

- ・地域福祉推進体制、ネットワークづくりの推進
- ・地域福祉に携わる人材の育成
- ・福祉のまちづくりの推進

高齢者福祉

- ・地域における高齢者支援体制の充実
- ・健康づくりと介護予防の推進
- ・認知症高齢者支援の推進
- ・介護サービスの充実
- ・高齢者の生きがいづくりと社会参加の推進

児童福祉

- ・子育て支援の充実
- ・保護や特別な支援が必要な子どもへの支援
- 児童厚生施設等の整備

障害者福祉

- ・福祉サービスの充実
- ・保健・医療サービスの充実
- ・生活環境の整備
- 雇用・就労の充実
- 社会参加の促進
- ・福祉意識の高揚

健康管理の充実

健康づくり

- ・母と子の健康づくりの推進
- ・成人の健康づくりの推進
- ・高齢者の健康づくりの推進
- ・食育・健康な食事の推進
- ・こころの健康づくりの推進

地域医療

・地域医療体制の充実

暮らしの安全確保

交通安全

- ・ 道路交通環境の充実
- ・交通安全意識の高揚
- ・交通安全運動の推進
- ・内灘町防犯と交通安全推進隊の強化充実

防災・減災

- ・ 地域防災力の強化
- ・防災のための施設等の整備

消防・救急

- ・防火意識の高揚
- ・消防力の強化
- ・救急救助体制の充実

防犯

- ・防犯意識の高揚
- 防犯体制の確立
- ・安全で豊かな消費生活の推進

豊かな心と個性があふれ、みんなが輝くまちづくり【輝く 心と体】

学校教育の充実

就学前教育

- ・就学前教育環境の充実
- ・支援制度の継続

学校教育

- ・ふるさとの歴史や伝統、自然を守り、未来につなげる教育
- ・異なる文化や価値観を尊重し、世界に通じる人づくり
- ・確かな学力をはぐくみ、一人一人の可能性を伸ばす教育
- ・家庭・地域・学校が連携した教育力の向上
- ・豊かな人間性をはぐくみ、心身ともにたくましい人づくり
- ・安全で安心な魅力ある学習環境

社会教育の充実

青少年健全育成

- ・学校・家庭の連携強化
- ・地域教育の充実

生涯学習

- ・学習活動の充実・支援
- ・学習推進体制の確立
- ・学習環境の整備・充実

図書館

- ・資料の整備と保管施設の拡充
- サービスの充実
- ・読書普及活動の推進

文化・芸術・スポーツの振興

文化・芸術

- ・芸術文化事業の推進
- ・芸術文化団体の育成
- ・文化施設の充実

文化財

- ・文化財の保護
- 伝統文化・郷土芸能の伝承

スポーツ

- ・町民のアクティブライフの推進
- ・生涯スポーツに親しむ「機会」の創出
- ・生涯スポーツに親しむ「場」の充実

地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまちづくり【輝く まちの魅力】

産業の振興

農水畜産業

- ・農業生産基盤の整備
- ・農業経営の安定化・高度化
- ・担い手の確保と育成
- ・畜産の振興
- ・漁業経営の安定化・高度化
- ・ 地産地消の推進

観光産業

- ・魅力ある観光資源の創出、活用
- ・観光情報の充実
- ・観光関連施設の充実
- ・受け入れ体制の整備

商工業

- ・魅力ある商業空間の形成
- ・既存企業の振興
- ・新規産業の誘致

就労環境の充実

就労環境

- ・勤労者福祉の充実
- ・就労機会の促進

広域交流の推進

広域交流

- 国際交流の推進
- 国内交流の推進
- ・交流環境の整備



絆を深め、みんなが活躍できるまちづくり【輝く 笑顔】

地域づくりの推進

地域コミュニティ

- ・地域コミュニティ活動の推進
- ・活動組織、人材の育成

男女共同参画

- ・男女共同参画の意識啓発・機会づくり
- ・男女共同参画に関する計画・条例の推進

持続可能な行財政の運営

行政サービス

- 行政運営の効率化
- ・職員の資質の向上
- ・行政情報公開と住民意見を反映したまちづくり・公共施設マネジメントの推進 の推進

財政運営

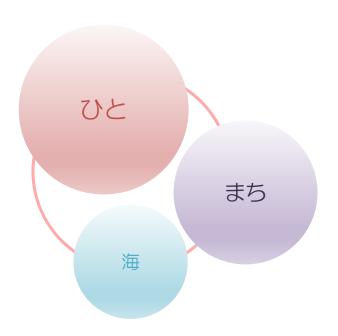
- ・行政評価による計画管理
- ・ 健全な財政運営の推進

広域行政

広域行政の推進

第五次 內灘町総合計画(案)

— ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ —



第五次内灘町総合計画 一目次一

基本構造	<mark>톉</mark>
序章	策定にあたって
第1節	計画策定の趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
第2節	計画の構成と期間3
第3節	時代の潮流・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
第4節	内灘町の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
第5節	課題の整理・・・・・・・8
第6節	町民意向
第1章 音	まちづくりの目標
第1節	基本理念
第2節	将来のまちの姿・・・・・・・・・・15
第3節	基本方針
第4節	基本指標
第5節	土地利用方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
第6節	施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
第7節	重点プロジェクト・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
# 4-51	
基本計	
第1章 5	豊かな自然とともに、快適に暮らせるまちづくり
第1節	都市基盤の整備
1 – 1	- 1 道路····· 30
1 - 1	- 2 海岸・河川・湖沼・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
1 – 1	- 3 公共交通······ 34

第2節 生活環境の充実	
1-2-1公園・緑地⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	36
1-2-2上下水道·····	38
1-2-3住宅・宅地	40
第3節 自然環境の保全と活用	
1−3−1 自然環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
1−3−2循環型社会······	44
第2章 みんなで支え、安全で安心して健やかに暮らせるまちづり	
第1節 社会福祉の充実	
2-1-1地域福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	48
2−1−2児童福祉・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50
2−1−3高齢者福祉⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	52
2-1-4 障害者福祉·····	54
第2節 健康管理の充実	
2-2-1健康づくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	56
2−2−2地域医療⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	58
第3節 暮らしの安全確保	
2-3-1交通安全·····	60
2-3-2消防・救急・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	62
2-3-3防災・減災・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	64
2-3-4 防犯·····	66
第3章 豊かな心と個性があふれ、みんなが輝くまちづくり	
第1節 学校教育の充実	
3−1−1就学前教育⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	70
3−1−2学校教育・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	72

第2節 社会教育の充実	
3−2−1青少年健全育成⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	74
3−2−2生涯学習・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	76
3−2−3図書館・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	78
第3節 文化・芸術・スポーツの振興	
3-3-1文化・芸術⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯⋯	80
3-3-2文化財·····	82
3-3-3スポーツ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	84
第4章 地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまちづくり	
第1節 産業の振興	
4-1-1農水畜産業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	88
4-1-2商工業·····	90
4−1−3 観光産業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	92
第2節 就労環境の充実	
4−2−1就労環境····································	94
第3節 広域交流の推進	
4-3-1広域交流·····	96
第5章 絆を深め、みんなが活躍できるまちづくり	
第1節 地域づくりの推進	
5-1-1 地域コミュニティ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	100
5−1−2男女共同参画····································	102
第2節 持続可能な行財政の運営	
5-2-1 行政サービス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	104
5-2-2財政運営·····	106
5-2-3 広域行政······	108

基本構想

序章 策定にあたって

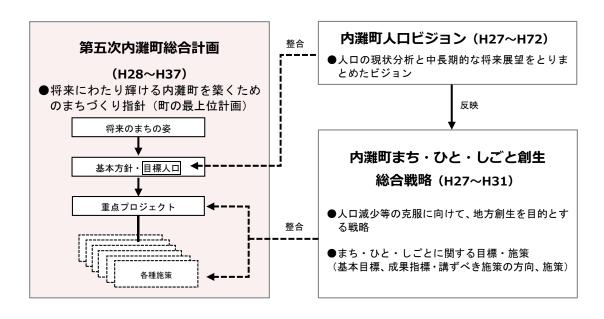
第1節 計画策定の趣旨

内灘町は、平成17年に第四次内灘町総合計画を策定し、「人がいきいき まちが元気 個性が輝く魅力あるまち うちなだ ~みんなで創る 協働のまちづくり~」を目指し、諸施策を積極的に推進してきました。

我が国は、平成20年から人口減少時代に突入し、今後、人口減少による地域経済規模の縮小や生活水準の低下等が懸念されています。また、東日本大震災をはじめとする地震や津波等の大規模な自然災害の多発、住民の価値観やライフスタイルの変化、地域コミュニティの希薄化、高度情報化社会の進展など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しています。

本計画は、人口減少の克服に向けて平成27年10月に策定された「内灘町人口ビジョン」「内灘町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえ、住民と行政が一体となり、近隣市町との相互協力を図りながら、将来にわたり輝ける内灘町を築くためのまちづくり指針として策定します。

【人口ビジョン・総合戦略との関係】



第2節 計画の構成と期間

1. 計画の構成

総合計画は「基本構想」と「基本計画」で構成されます。

<基本構想>

基本構想は、内灘町を取り巻く動向やまちづくりに対する町民意識、内灘町の課題を 踏まえ、長期的な視点から将来のまちの姿を設定し、それを実現するための基本方針を 示すものです。

<基本計画>

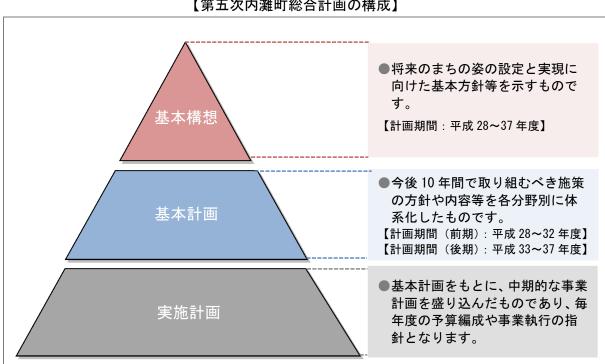
基本計画は、基本構想で定めた「将来のまちの姿」や「基本方針」等に基づき、必要 となる施策を分野別に体系化し、各種施策の方針や成果指標等を示すものです。

基本計画については、社会情勢や財政状況の変化に柔軟に対応するため、各種施策の 進捗管理を行い、適宜、計画の見直し・修正を行うこととします。

2. 計画期間

基本構想及び基本計画の計画期間は、平成28年度~平成37年度の10年間とし、平成28年 度~平成32年度を前期計画、平成33年度~平成37年度を後期計画とします。

【第五次内灘町総合計画の構成】



第3節

時代の潮流

人口減少・ 少子高齢化 時代の到来 平成22年国勢調査における我が国の総人口は、1億2,806万人でしたが、国立社会保障・人口問題研究所によると、平成42年には1億1,662万人、平成60年には9,913万人と1億人を割り切ると推計されています。今後、人口減少・少子高齢化の進展により地域経済の縮小や医療・福祉、公共交通をはじめとする行政サービス水準の低下等が懸念されています。

安全・安心に 対する意識の 高まり 近年、東日本大震災をはじめとした地震や台風、竜巻、ゲリラ豪雨等の自然災害が日本各地で頻繁に発生しており、防災への意識が高まっています。

また、児童や高齢者等を狙った凶悪事件や巧妙な詐欺事件等の様々な 犯罪が発生しているほか、食の安全性に対する不信感や新型インフルエ ンザ等の新興感染症の脅威、地域医療・救急医療体制、社会保障制度に 対する不安等も高まっています。

価値観やライ フスタイルの 多様化 成長社会から成熟社会を迎え、ものの豊かさよりも心の豊かさを求める意識が高まり、価値観やライフスタイルの多様化が進んでいます。家族や友人とのコミュニケーションや文化・芸術・スポーツ等に親しむ趣味活動など、生活の質を高める余暇活動が増加し、活動を通じた多様なネットワークが形成されるほか、就業環境も大きく変化しています。

持続可能な 循環型社会の 形成 これまでの大量生産、大量消費、大量廃棄型の生活や経済活動により、 地球温暖化や廃棄物の増加、水質汚染等の地球環境問題が顕在化し、環 境保全に対する意識が高まっています。また、東日本大震災時を経て変 化するエネルギー政策を踏まえ、省エネルギーや再生可能エネルギー等 の導入も期待されています。 将来を担う 人づくり 高度情報化社会やグローバル化の進展など、急激に変化する現代において、「知(基礎的な知識・技能を習得し、自らが様々な問題を解決する力)「徳(他人と協調し、思いやる心などの豊かな人間性)」「体(たくましく生きるための健康や体力)」のバランスのとれた「生きる力」を育む教育が重要視されていますが、子どもの学力や規範意識の低下等が指摘されています。

地域コミュニ ティの希薄化 地域コミュニティは、地域福祉活動や防災・防犯活動をはじめ、地域の歴史・文化の継承や自然環境保全活動、教育等の多岐にわたる分野において重要な機能と役割を有していますが、人口減少・少子高齢化や高度情報化社会の進展、産業・就業構造の変化等に伴い、世代間の交流機会の減少や地域内のつながりの希薄化が進んでいます。

高度情報化 社会の進展 高度情報化社会の進展により、時間や距離にとらわれることなく、様々な情報の受発信が可能となり、日常生活における利便性の向上や社会経済の高度化、地域を超えた交流促進など、あらゆる分野に効果をもたらし、ますます発展することが見込まれていますが、個人情報の流出やインターネットを悪用した犯罪の増加、人間関係の希薄化等が課題として指摘されています。

グローバル化 社会の進展 社会経済活動のグローバル化に伴い、人・モノ・資金・情報等の交流が活発化しています。平成27年10月には、モノの関税だけでなく、サービスや投資の自由化を進め、さらには知的財産、金融サービス、電子商取引等、幅広い分野で21世紀型のルールを構築する環太平洋パートナーシップ(TPP)協定の大筋合意に至るなど、今後、国境を超えた地域間競争の激化が予想されています。

地方分権の 広がり 地方公共団体においては、「自己決定」と「自己責任」の原則のもと、 地方自らが決定し、行動する「地方分権型社会」へ移行し、自治体同士 が知恵と能力を競い合う時代を迎えています。また、住民ニーズが多様 化する中、行政サービスに対する要望も増大し、限られた財源の中です べての住民ニーズに対応することが困難になってきています。

第4節 内灘町の概況

1. 内灘町の概況

内灘町は、石川県のほぼ中央、県都金沢市の中心市街地から北西約9kmに位置し、南部を金沢市、東部を津幡町、北部をかほく市に接しています。町域面積は20.33kmであり、東西2.9km、南北9.0kmの日本海に沿って発達した内灘砂丘に展開している"砂丘の町"です。

内灘砂丘は、最高所の標高58.51m、平均標高約20mの横列砂丘で、西側を日本海に東側を河北潟に挟まれた状態でほぼ南北に伸びています。

河北潟は、国営干拓事業により総面積の約6割が干陸され、その残存水面は金沢港に至る大野川と砂丘地中央部を横断する河北潟放水路によって日本海に通じています。



2. 沿革

内灘町は、加賀地方最初の石器発見地として考古学上著名であり、早くから人びとの生活が営まれてきました。中世においては、式内社である小濱神社(黒津船権現)が現在の権現森に鎮座し、近郷七箇村の中心的な位置を占めその結合の核となっていました。

明治以降内灘町の漁業は著しい発展を遂げ、大正末期には金沢駅から機具橋の手前(新領崎駅)まで電車が開通し、"北陸の宝塚"ともいわれた栗ケ崎遊園が賑わいを見せていました。

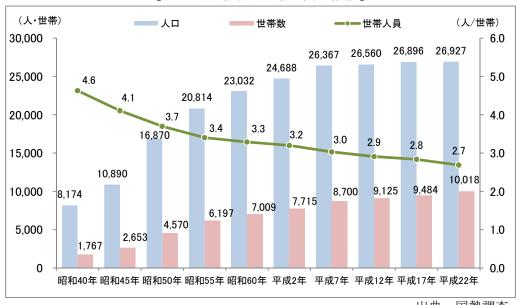
第2次世界大戦後、昭和27年からは米軍砲弾試射場として砂丘地の大半が接収され全国 的な反基地闘争のさきがけとして名を馳せた"内灘闘争"が起こりました。その後、米軍 砲弾試射場は昭和32年に米軍の引き上げで閉鎖されました。

昭和30年代後半から高度経済成長期にかけては、県営住宅の建設や土地区画整理事業施行によって砂丘地において本格的な新しいまちづくりが行われました。昭和47年には金沢医科大学が開学し、また、能登有料道路(現のと里山海道)の開通により金沢と能登を結ぶ交通の要衝として、さらには、金沢市近郊住宅都市と学園都市を2大特性とする"閑静で明るいまち"として今日に至っています。

3. 人口と世帯

昭和37年の町制施行時、7,615人であった内灘町の人口は、県都金沢市近郊の地理的条 件から住宅団地の造成や教育・文化施設等の都市基盤の整備に伴う人口の増加により、平 成22年の国勢調査では、人口は26,927人、世帯数は10,018世帯、世帯人員は2,7人/世帯と なっています。

近年では、人口及び世帯数は横ばい傾向にありますが、世帯人員は減少傾向にあります。



【人口・世帯数・世帯人員の推移】

出典:国勢調査

4. 産業別(3部門)就業者数

就業者数は、人口増加に伴い増加してきましたが、平成7年以降は減少し、平成22年で は13,523人となっています。

産業別に就業者数をみると、第1次産業は横ばい傾向、第2次産業は減少傾向、第3次 産業は横ばい傾向になっています。



【産業別(3部門)就業者数の推移】

出典:国勢調査

※合計値には分類不能の就業人口が含まれるため、第1-3次産業別人口の積み上げ値と一致しません

第5節

課題の整理

時代の潮流や内灘町の概況を踏まえ、次の事項を主な課題と捉え、整理しました。

7 人口減少・少子高齢化社会への対応

人口減少・少子高齢化社会へ対応するためには、町内の人口増加を促し、バランスのとれた人口構成へ転換することが必要です。そのためには、住みたい・住みつづけたいと思う魅力づくりが必要であり、安心して子どもを産み育てられる環境づくりや高齢者が元気に生きがいを持ち、暮らし続けられる環境づくりが求められます。

2 快適な居住環境の充実

内灘町は、"閑静で明るいまち"として、これまで住宅地をはじめとする都市基盤の整備に取り組んできました。町民のアンケート調査では、「通勤・通学」「道路の安全性」等の満足度は低く、南部地域と北部地域において満足度の意識に差が生じています。

快適な居住環境の充実に向け、公共交通網の形成など、南北地域のバランスに配慮した都市機能の強化が求められます。

3 安全で安心して暮らすための防災・防犯体制の強化

近年の自然災害の頻発や犯罪の凶悪化・巧妙化等の不安に対し、町民の安全・安心を 求める声は高まっており、内灘町においても防災行政無線や防犯カメラの設置、各種ハ ザードマップの周知啓発、自主防災・防犯組織の設立等に取り組んできました。

町民の安全・安心を確保するため、防災・防犯体制の強化を図るとともに、町民一人ひとりの危機管理意識の向上や町内の都市基盤の老朽化対策など、ソフト・ハード両面の対策が求められます。

4 豊かな自然環境の保全・活用と次世代への継承

内灘町は、日本海に面した内灘海岸や内灘砂丘、河北潟等の豊かな自然環境を有して おり、町民の自慢できる所や中学生の好きな所に挙げられています。

町民・事業者・行政が連携し、恵まれた自然環境の保全・活用を進めるほか、持続可能な循環型社会の形成に向けた取組を推進し、豊かな自然環境を次世代に継承していくことが求められます。

5 産業・観光の活性化

内灘町では、町内における雇用、就労機会が少ない状況にあるため、多くの就労者が 金沢市をはじめとする近隣市町に働きに出ています。

町の産業・観光の活性化に向け、地場産業の振興を図るとともに地域資源を活かした 産業の育成や観光メニュー開発のほか、近隣市町と連携した取組等が求められます。

6 心豊かな人材を育む教育・文化・スポーツ環境の充実

次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに成長できるよう、学校・家庭・地域が連携し、教育環境の充実や郷土の歴史・文化の継承等に向けた取組の充実を図る必要があります。

また、心豊かな町民を育むため、公民館や文化会館を拠点とした生涯学習や文化・芸術活動の推進、総合体育館や総合公園を活かした生涯スポーツ活動の充実を図ることが求められます。

フ 地域コミュニティや広域連携の充実

世代間の交流機会の減少等により地域のつながりの希薄化が進んでおり、福祉や教育等の多岐にわたる分野において重要な機能と役割を有する地域コミュニティの充実が求められます。

また、限られた財源の中、多様化する町民ニーズに対応するため、近隣市町との相互 連携の充実を図ることが求められます。

第6節

町民意向

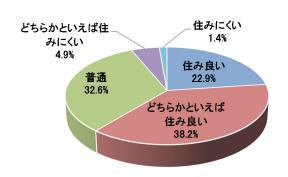
本計画の策定にあたり、町民意見を取り入れた新たなまちづくりの指針を定めることを目的に、20歳以上の町民(2,000通配布、601通回収、回収率30.1%)及び内灘中学2年生(257名)に対し、アンケート調査を実施しました。

1. 内灘町の住みやすさ・定住意向

- ●町民の回答者のうち約6割は、内灘町を 「住みやすい」、内灘町に「永住したい」 と評価しています。
- ●中学生の回答者のうち約5割は、内灘町を「住みやすい」と評価しており、中学生の約3割が「このまま住み続けたい」、約4割が「進学等で離れても戻りたい」と意向を示しています。また、中学生の回答者のうち約3割は「町外へ移り住みたい」と意向を示しており、その理由は商業や娯楽施設の不足が多く挙げられています。

※住みやすい:住み良い+どちらかといえば住み良い ※永住したい:ぜひ永住したい+できれば永住したい

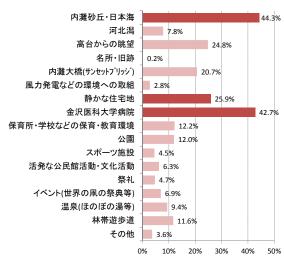
【内灘町の住みやすさ(町民)】



2. 内灘町の自慢できる所/好きな所

- ●町民の回答者のうち約4割は「内灘砂丘・ 日本海」「金沢医科大学病院」、約3割は「静 かな住宅地」を内灘町の自慢できる所と回 答しています。
- ●中学生の回答者のうち約3割は「凧の祭典や祭り・イベントがある」「海・砂浜が近くにある」、約2割は「サンセットブリッジ」を内灘町の好きな所と回答しています。

【内灘町の自慢できる所(町民)】

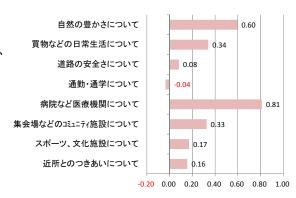


複数回答

3. 住まい周辺環境に対する満足度

- ●町民の住まい周辺環境に対する満足度では「病院など医療機関」「自然の豊かさ」「買い物などの日常生活」の満足度が高い一方、「通勤・通学」「道路の安全さ」「近所とのつきあい」の満足度は低くなっています。
- ●「買い物などの日常生活」や「通勤・通学」 「道路の安全性」においては、西荒屋小学 校区に住む町民の満足度が特に低く、北部 地区と南部地区において意識に差が生じ ています。

【住まい周辺環境に対する満足度(町民)】

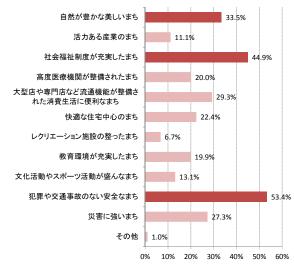


※グラフ中の数値は満足:2点、やや満足:1点、普通:0 点、やや不満:-1点、不満:-2点として算出した加重平均値を示しています。

4. 目指すべき将来像・将来の内灘町のイメージキーワード

- ●町民の回答者のうち約5割は「犯罪や交通 事故のない安全なまち」約4割は「社会福祉制度が充実したまち」約3割は「自然が豊かな美しいまち」を目指すべき将来像として回答し、将来の内灘町のイメージキーワードには「住み良い」「安心」「美しい」が多くなっています。
- ●中学生の回答者のうち約6割は「買い物に 便利なまち」、約4割は「安全なまち」「自 然が豊かな美しいまち」を目指すべき将来 像として回答し、将来の内灘町のイメージ キーワードには「安心」「住み良い」「豊か」 が多くなっています。

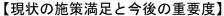
【目指すべき将来像(町民)】

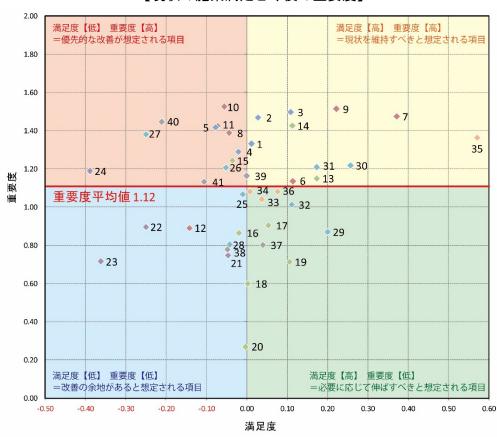


複数回答

5. 現状の施策に対する満足度と今後の重要度

- ●満足度が低く重要度が高い「10. 地震や水害などに備えた防災施設や取組」「11. 治安・ 犯罪防止のための施設や取組」「27. 利用しやすい電車やバスなどの公共交通環境の整備、 維持」等について、今後、優先的な改善が求められていると想定されます。
- ●満足度、重要度ともに高い「3. 出産や育児を支援する施設や取組」「9. 火事や災害時における消防・救急体制」「7. 地域内や救急時における医療体制」等については、今後も現状を維持していくことが求められていると想定されます。





満足度が低く、重要度が高く、優先的な改善が想定される項目				
【福祉】	4. 障がい者を支援する施設や取組			
	5. 国民健康保険や介護保険制度などの社会保障内容の充実に向けた取組			
	8. 事故を防止するための交通安全環境の整備や取組			
【医療・安全】	10. 地震や水害などに備えた防災施設や取組			
	11. 治安・犯罪防止のための施設や取組			
【教育】	15. 青少年の健全な育成を図る制度や取組			
【	24. 働く場所の提供など就労機会の促進			
T typ to the form	26. 海岸や河川の整備、保全			
【都市基盤】	27. 利用しやすい電車やバスなどの公共交通環境の整備、維持			
	39. 行政サービスや職員の対応			
【住民参加・行財政】	40. 無駄が少なく効率的な財政運営			
	41. 周辺市町等と連携した行政サービスの提供			

【施策番号一覧】

	◆福祉	
	No.1	地域住民がお互いに支え、思いやる福祉環境を支援する取組
	No.2	高齢者の健康維持や介護を支援する施設や取組
	No.3	出産や育児を支援する施設や取組
	No.4	障がい者を支援する施設や取組
	No.5	国民健康保険や介護保険制度などの社会保障内容の充実に向けた取組
	◆医療・安全	
	No.6	健康維持・増進のための施設や取組
	No.7	地域内や救急時における医療体制
	No.8	事故を防止するための交通安全環境の整備や取組
	No.9	火事や災害時における消防・救急体制
	No.10	地震や水害などに備えた防災施設や取組
	No.11	治安・犯罪防止のための施設や取組
	No.12	消費者被害などに備えた情報提供や取組
	◆教育・文化	ヒ・スポーツ
	No.13	就学前教育を支援する施設や制度
	No.14	小学校や中学校における学校教育
	No.15	青少年の健全な育成を図る制度や取組
	No.16	生涯学習を実施するための施設や制度
	No.17	図書館施設や機能
	No.18	動植物や神社などの文化財及び伝統芸能の保存や活用
	No.19	スポーツ、レクリエーション活動を実施するための施設や取組
	No.20	国際友好都市や姉妹都市などとの交流の取組
	◆産業	自然及対部市で対象部市などとの大流の状態
	▼/生来 No.21	農水産業の基盤整備及び振興
	No.21	
	No.22	観光客を受け入れる施設や情報発信に関する取組
		働く場所の提供など就労機会の促進
	┃◆都市基盤	
	No.25	幹線道路ネットワークや緑化などによる道路環境の整備、維持管理
	No.26	海岸や河川の整備、保全
	No.27	利用しやすい電車やバスなどの公共交通環境の整備、維持
	No.28	自治体から地域の暮らしに関する情報を提供する環境の整備
	No.29	公園の整備・管理、緑化の推進等
	No.30	上水道の整備、維持管理
	No.31	下水道の維持管理・雨水対策等
	No.32	街なみの整備など快適な居住環境をの維持、発展
	◆自然・環境	竟
	No.33	省エネ・生態系保全・環境保護などの取組
	No.34	地下水などの水資源の保全・節水意識の高揚等
	No.35	ごみ処理・リサイクルの取組
	No.36	公害防止対策などの取組
	◆住民参加	
		住民が主体となった地域活動に対する支援制度や取組
	No.38	
	No.39	行政サービスや職員の対応
	No.40	無駄が少なく効率的な財政運営
п	140.71	

~満足度と重要度の数値について~

- ・満足度は、満足:2点、やや満足:1点、普通:0点、やや不満:-1点、不満:-2点として算出した加重平均値を示しており、0を基準としています。
- ・重要度は、重要: 2点、まあまあ重要: 1点、あまり重要でない: -1点、重要でない: -2 点として算出した加重平均値を示しており、平均値(1.12)を基準としています。

第1章 まちづくりの目標

第1節 基本理念

町民アンケート調査においては、町の自慢として「内灘砂丘・日本海」「金沢医科大学病 院」「静かな住宅地」等が挙げられ、将来目指すべき姿には「安全なまち」「福祉が充実し たまち」「自然豊かなまち」、将来の内灘町のイメージキーワードには「住み良い」「安心」 「美しい」等が挙げられています。

今後、社会情勢の変化や町民ニーズを踏まえ、地域の特徴を活かしながら自らの力で課題 を解決し、これからの時代を生き抜く自立したまちづくりに向け、「心豊かで、思いやりあ ふれるまち~ひとの輝き~」「安全・安心で、賑わいあるまち~まちの輝き~」「緑と水に 抱かれた、自然豊かで環境にやさしいまち~自然の輝き~」を基本理念に掲げます。

心豊かで、思いやり あふれるまち ~ひとの輝き~

住み慣れた地域で安心して健 やかに生活できるよう、子ども から高齢者までの全ての町民 が支え合い、心豊かで思いやり あふれるまちを目指す

安全・安心で、 賑わいあるまち ~まちの輝き~

閑静な住宅地や充実した医療機 関等の内灘町の魅力を活かし、 安全・安心で誰もが「住んでよ かった、住みたい」と実感でき る賑わいあるまちを目指す

緑と水に抱かれた、 自然豊かで 環境にやさしいまち ~自然の輝き~

内灘海岸や内灘砂丘、河北潟を はじめとする豊かな自然に囲ま れ、人と自然が共生し、環境に やさしいまちを目指す

第2節 将来のまちの姿

ひと・まち・海が輝き

笑顔あふれる都市 うちなだ

内灘町は、県都金沢に隣接し、金沢と能登を結ぶ「のと里山海道」の結節点の機能を有 するほか、金沢医科大学とその付属病院が立ち並ぶ日本海側有数の医療機関、内灘海岸や 内灘砂丘、河北潟等の豊かな自然、内灘町総合公園や道の駅内灘サンセットパーク等のレ クリエーション空間、小濱神社等の多様な歴史・文化を有する、"閑静で明るいまち"と して快適な住環境の整備が進められてきました。

本計画では「ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ」を将来のまちの姿 に掲げ、町の恵まれた地域資源と地理的な特性を活かしながら、町内が一体となったまち づくりを推進し、誰もが「住んでよかった、住みたい」と思える、明るく元気な町を目指 します。







第3節 基本方針

内灘町では、将来のまちの姿「ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ」の 実現を目指し、5つの基本方針を設定し、今後のまちづくりを展開します。

基本方針1:【輝く 水と緑】

豊かな自然とともに、快適に暮らせるまちづくり 都市基盤・生活環境・自然環境

- ・道路整備による交通ネットワークの強化や公共交通の利便性の向上を図るほか、公園緑地や上下水道等の整備と適正な維持管理に取り組みます。
- ・内灘町が誇る内灘海岸や内灘砂丘、河北潟等の豊かな自然環境、そこに生息する動植物等との共生を目指し、大気、水質等の保全・美化に努めるとともに、自然エネルギーの活用や適正な廃棄物処理など、持続可能な循環型社会の形成を推進します。

基本方針2:【輝く くらし】

みんなで支え、安全で安心して健やかに暮らせるまちづくり 福祉·医療·安全

- ・子どもから高齢者までのすべての町民が安心して健やかに暮らせるよう、互いに協力し助け合う地域福祉をはじめ、児童、高齢者、障がい者に対する各種公共福祉サービスや社会保障の充実を図ります。
- ・町民が心身ともに健康を維持し、住み慣れた地域で充実した生活を送ることができるよう、地域医療体制の強化や町民の健康づくりを推進し、健康管理の充実を図ります。
- ・自然災害や凶悪化、巧妙化する犯罪、交通事故に対する危機管理意識の向上や体制の強 化を図るなど、安全な暮らしの確保に努めます。

基本方針3:【輝く 心と体】

豊かな心と個性があふれ、みんなが輝くまちづくり 教育・文化・スポーツ

- ・内灘町の将来を担う子どもたちが心豊かで健やかに成長できるよう、家庭・学校・地域 が連携し、「知」「徳」「体」のバランスがとれた「生きる力」を養うことを目指した教育 環境や内灘町への愛着を高めるふるさと教育の充実を図るほか、青少年の健全な育成に 向けた取組を推進します。
- ・図書館や総合公園等の公共施設における文化・スポーツ等の生涯学習活動を通じて、子 どもから高齢者までのすべての町民が個々の志向や成長段階に応じて、個性を磨き、発 揮できる環境づくりに努めます。

基本方針4:【輝く まちの魅力】

地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまちづくり 産業·交流

- ・地域の活力向上に向け、消費者ニーズを的確に捉えた特産品開発や地産地消の推進による農水畜産業の振興、町内への企業誘致をはじめ、町内企業の経営支援や新たな起業・ 創業支援による商工業の活性化、観光客の受け入れ体制や町内外の交流ネットワークの 強化による観光振興に取り組みます。
- ・生活様式や価値観が多様化する中、女性や高齢者、障がい者を含めたすべての労働者が 安全に安定して働くことができるよう、雇用促進に向けた取組や就労環境の改善に向け た取組の充実を図ります。
- ・グローバル化社会や高度情報化社会の進展など、急速な時代の変化に柔軟に対応できる よう、国内外の交流推進に向けた環境の整備・充実に取り組みます。

基本方針5:【輝く 笑顔】

絆を深め、みんなが活躍できるまちづくり 地域づくり・行財政

- ・福祉や防災・防犯、教育等の多くの分野において、多様化する地域の課題やニーズ等に 対応するため、1町会1公民館体制による地域コミュニティの充実を図り、行政と町民 が一体となったまちづくりを推進します。
- ・持続可能な行財政運営に向け、行政運営の効率化や財政運営の健全化を図るとともに、 町民が幅広くサービスを享受できる広域行政を推進します。

第4節

基本指標

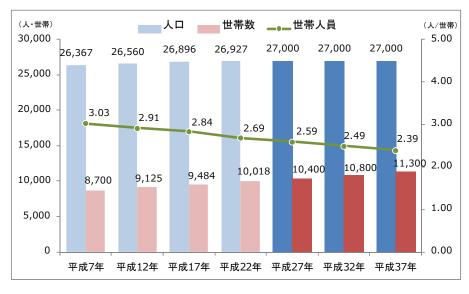
1. 人口・世帯数・世帯人員

平成37年の将来目標人口は27,000人、世帯数は11,300世帯を目指します

我が国では平成20年から人口減少時代に突入し、石川県においても平成17年の国勢調査において総人口が減少に転じていますが、内灘町は県都金沢市に近接している立地条件や豊かな自然環境等を有した良好な住環境を活かして、近年は総人口が横ばい傾向にあります。

全国的な人口動態を踏まえながら、これまで整備してきた白帆台地区等への転入促進や 子育て環境の充実等の魅力あるまちづくりの推進により、平成37年の内灘町の将来目標人 口は、現状維持の27,000人を目指します。

また、世帯人員は核家族化や単身世帯の増加の傾向を踏まえ、平成37年には2.39人/世帯、世帯数は11,300世帯を見込みます。



【人口・世帯数・世帯人員の推計】

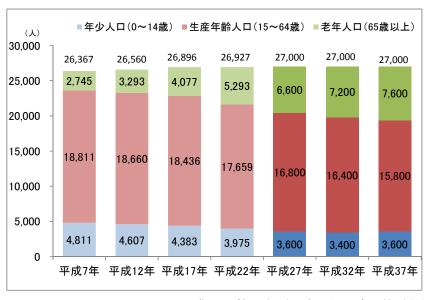
出典:国勢調査(平成27年以降は推計値)

~内灘町人口ビジョン~

目標年次:平成72年(2060年) 人口:約25,000人

2. 年齡3区分別人口

今後の高齢化の進展を捉えつつ、子育て支援の充実等により少子化に歯止めをかけることを目指し、平成37年の年少人口(0~14歳)は約3,600人(構成比13%)、生産年齢人口(15~64歳)は15,800人(構成比59%)、老年人口は約7,600人(構成比28%)を見込みます。



【年齢3区分別人口の推計】

出典:国勢調査(平成27年以降は推計値)

3. 産業別(3部門)就業者数

就業人口は、生産年齢人口と老年人口を合わせた人口に対する就業率を、高齢者の就業機会の創出等により、現状の約59%の維持を想定し、平成37年には13,790人を見込みます。

産業3区分別の就業人口は、第1次産業及び第2次産業が減少するものの、第3次産業の増加を想定し、平成37年には第1次産業140名(構成比1%)、第2次産業3,060人(構成比23%)、第3次産業9,890人(構成比76%)を見込みます。



【産業別(3部門)就業者数の推計】

出典:国勢調査(平成27年以降は推計値)

※合計値には分類不能の就業人口が含まれるため、第1-3次産業別人口の積み上げ値と一致しません。

第5節 土地利用方針

町民の豊かな生活環境や快適な都市空間の創出を図るため、5つのゾーンを設定した土地 利用方針を定め、総合的かつ計画的な土地利用を推進します。

1. 住宅系地区

南部地域については、計画的な面的整備等により形成された住宅地は、引き続き低層住居を中心とした土地利用を図り、良好な住環境を保全するものとし、幹線道路沿いの住宅や商店舗等が立地する既成住宅地については、沿道の適正な土地利用や秩序ある沿道景観の形成等により、良好な居住環境を有する沿道型住宅地の形成を図ります。その他の住宅地において用途の純化が図られている地域では、安全で快適な住環境の創出に努めるため、適正な建築誘導が図れるよう、用途の見直しの検討を行うものとします。

また、業務施設、公共施設等が立地する地区については、沿道の特性を活かした効果的な土地利用を推進します。

一方、北部地域の白帆台地区については、生活利便施設の立地誘導を図るとともに、周辺の自然環境と調和した魅力ある良好な街並み形成を目指します。また、市街化調整区域に属する既存集落地については、都市基盤の整備充実や公共交通の利便性向上等により、快適な集落環境の形成を図るとともに、北部地域の活性化を図るため、各種土地利用手法の導入による誘導策を検討します。

2. 商業系地区

千鳥台地区の温浴施設、宿泊施設を備えた複合商業施設が立地する地区については、内 灘町の新商業地となるよう更なる立地誘導を図り、内灘海岸を含めた新たな魅力づくりと なる賑わいのある商業地の形成を推進します。

3. 観光・レクリエーション地区

広域交通ネッワークの充実強化に合わせて、内灘町の水と緑豊かな自然環境を活用した 観光・レクリエーション拠点の整備を図るとともに、内灘海岸や内灘砂丘等の既存の観光 拠点とのネットワークの強化と観光メニューの多様化を進めます。

特に、河北潟放水路を中心とする河北潟から日本海にかけての地区において、魅力ある自然資源の活用を図りつつ、アメニティ性、親水性に富んだ憩いの場の整備や心身のリフレッシュ空間の創出を図ります。また、総合公園周辺地区において、日本海をはじめ、河北潟や白山・立山連峰の雄大な眺望を活かした滞在型観光拠点の創出を図るとともに、恋人の聖地等も活用し、のどかな自然の中でゆったりと景色を眺めながらくつろげる空間の創出を図ります。

4. 農業振興地区

農業地については、農業振興計画に基づき、優良農地の整備・保全を進めながら農業生産基盤の強化を図るとともに、農地が持つ多面的な機能を活かしつつ田園環境の保全に努めます。

5. 自然環境地区

樹林地については、そのほとんどが飛砂防備保安林として指定されており、豊かな自然環境の形成並びに内灘町らしい景観を創出する緑として今後も保全に努めるとともに、観光・レクリエーション地を結びつけるネッワークとして活用を図ります。

また、海浜に代表される自然地や水辺については、人々に憩いとやすらぎを与えるうる おい空間として、今後ともその保全に努めるとともに、親水性の高い水辺環境の創出を推 進します。

1000m 日本海 · 内灘海水浴場 西荒屋海水浴場 内灘マリーナ 権現森海水浴場 のと里山海道 のと里山海道 コンフォモール内灘 金沢市 、金沢医科 ル大学病院 (都) 千鳥台放水路線 (都)大学宮坂線 県)高松内灘線 内灘町役場 総合公園 至 (都)向粟崎大根布線 道の駅内灘 サンセット/ サンセットブリッジ内灘 主) 松任宇ノ気線 (主)松任字/気線 内灘駅 蓮湖渚公園 至 金沢市

【土地利用方針図】



至 津幡町

第6節

施策の体系

将来の まちの姿

基本方針

基本方針1【輝く 水と緑】

豊かな自然とともに、

快適に暮らせるまちづくり

基本方針2【輝く くらし】

みんなで支え、

安全で安心して健やかに暮らせるまちづくり

基本方針3【輝く 心と体】

豊かな心と個性があふれ、

みんなが輝くまちづくり

基本方針4【輝く まちの魅力】

地域の魅力を活かし、

活力と交流が生まれるまちづくり

基本方針5【輝く 笑顔】

絆を深め、

みんなが活躍できるまちづくり

ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市

巾うちなだ

施策区分

- 都市基盤の整備
- 生活環境の充実
- ・自然環境の保全と活用



- 社会福祉の充実
- 健康管理の充実
- ・暮らしの安全確保



- 学校教育の充実
- 社会教育の充実
- ・文化・芸術・スポーツの振興



- ・ 産業の振興
- ・ 就労環境の充実
- 広域交流の推進



- ・自立した地域づくりの推進
- ・持続可能な行財政の運営



第7節 重点プロジェクト

内灘町が目指す将来のまちの姿「ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ」 を実現するため、基本方針に基づき重要な施策を統括した「安全安心プロジェクト」、「定 住促進プロジェクト」、「北部開発プロジェクト」、「健康増進プロジェクト」、「賑わい創出 プロジェクト」の5つの重点プロジェクトを定めます。

ひと・まち・海が輝き 笑顔あふれる都市 うちなだ

将来のまちの姿の実現

5つの重点プロジェクト

安全安心

プロジェクト

公共施設の整備・維持管理 防災・防犯体制の強化 地域コミュニティの充実 等

定住促進

プロジェクト

住宅・宅地の整備 定住人口確保に向けた住環境向上 子育て環境の充実 等

北部開発

プロジェクト

幹線道路からのアクセス強化 魅力ある住宅地の形成 砂丘地の特徴を活かした農業振興

健康増進

プロジェクト

医療・福祉体制の強化 文化・芸術・スポーツ施設整備 生きがい・健康づくり活動 等

賑わい創出

プロジェクト

地域資源を活用した観光振興 国内外との交流推進 産業の育成、起業支援等

安全安心プロジェクト

- ・安全安心なまちづくりに向け、道路、公園、上下水道等の都市基盤の整備や維持管理 対策に取り組みます。
- ・町民や行政、関係機関が一体となった防災・防犯体制の強化を図ります。
- ・地域内で課題を共有し、解決できるよう、地域コミュニティの充実を図ります。

定住促進プロジェクト

- ・公営住宅の整備や住居取得・改修に対する支援、空き家対策など、居住環境の向上に 向けた施策等を推進します。
- ・町民の子育てに対する不安や負担を解消・軽減できるよう、子どもを育てるサポート体制の強化や子育て世帯への経済的な支援を行います。
- ・閑静な生活環境をはじめとする町の強みを発信し、定住人口の確保に努めます。

北部開発プロジェクト

- ・のと里山海道や既存集落、丘陵部からのアクセスを強化するため、(仮) 白帆台インターチェンジや幹線道路等の整備を推進します。
- ・白帆台地区を中心に魅力ある住宅地の形成に向け、定住促進や商業地区の活性化を図るほか、土砂災害の危険性が高い斜面等への防災対策に取り組みます。
- ・北部砂丘地の特徴を活かした農業基盤整備や豊かな自然資源等を活用した観光、レク リエーション機能の充実を図るとともに地域の歴史や自然環境の保全を推進します。

健康増進プロジェクト

- ・金沢医科大学病院等と連携し、医療や福祉体制の強化を図ります。
- ・生涯学習や生涯スポーツ等を推進し、健康寿命の延伸を図ります。
- ・文化会館や総合公園等の文化・芸術・スポーツ施設の整備を図り、町民の生きがいづくりや健康づくり活動を推進します。

賑わい創出プロジェクト

- ・内灘海岸における観光拠点整備や内灘大橋のライトアップ等の地域資源を活かし、賑 わい創出や観光振興等を推進します。
- ・産業の育成や起業支援等のほか、特産品づくりや新たな商品開発等への支援を行い、 まちの活力を創出します。